

## 「本当の薬局をやりたい」と製薬メーカーから転身 1年がかりで準備、継承店舗第2号に 「ビタミンファーマシー大口薬局」二宮祥晃さん

2月1日、神奈川区大口通商店街の「大口薬局」が新装オープンした。

昨年度の市井の名店継承事業にチャレンジャー(長年地域で親しまれた商店街の店舗を継承する人)として名乗りをあげた二宮祥晃さん(46歳、外資系大手製薬メーカーで23年間勤務、プロダクトマネージャーや学術情報を担当し医薬品の有効性と安全性に携わってきた)が、約1年の準備期間において、前経営者の松林宏さん(67歳)から店名ごと継承した店舗だ。

本事業としては、西区サンモール西横浜の喫茶店「ビュー」に続き2店目となる。二宮さんに、継承の動機や抱負を聞いた。

### 本当の薬局は健康サポーター

やめていく店が多い中、なぜこれから、それも大手の寡占化が進む薬局を始めたのでしょうか？

**二宮** 本当の薬局をやりたいからです。高齢化や少子化、社会的ストレスの増加などで、健康・医療へのニーズが高まり、多岐にわたり、また、高いレベルでの対応が求められています。インターネットの普及で情報はたくさん入るがどれを信じて選択したらいいのかわからない。ましてインターネットを使いづらい方にとっては、良い薬やものはたくさんあっても、どれを選べば自分に合いそうなのかかわからない。僕の考える本当の薬局とは、そのようなニーズに対応できる「敷居の低い、まちの健康サポートセンター」のような存在です。

といいますと？

**二宮** お客様の生活環境、赤ちゃんならおむつを見せてもらい、お年寄りなら服用している薬や食事などを対面で聞き、それぞれの人に合った薬をお勧めすることが本当の薬局です。それが忘れられ、利幅や売り手の都合で半ば機械的に売られていることが一般的になっています。だから健康サポートへのニーズがきっとあると考えました。

現実には大手のドラッグストアチェーンが増え、昔からの薬局はどんどんやめていますか？

**二宮** 温故知新。昔からの薬局は僕の考える「本当の薬局」に近い。ぜひ継続していただきたい。今回オープンした店の2軒隣にも大手のチェーン店が数カ月前に進出し、店舗面積も品揃えも5倍以上です。でも僕の考える本当の薬局ではなかったため、あまり迷わず出店しま



健康サポーターとしての店づくりがモットーの二宮さん

新装開店した大口薬局



した。そのお店が僕の目指す薬局なら、この商店街にビタミンファーマシーは必要なかったかもしれません。

### 大口は魅力的な場所！

なぜ、大口にしたのですか？

**二宮** 昨年度の名店事業で薬局としてあがっていたのが大口だけだったということもありますが、まわりを調べて市場的にもものすごく魅力的な場所と思いました。

大口でも来街者はピーク時の2割から3割に激減したと言われ、後継者のいない店も少なくないようです。大口の市場的な魅力とは？

**二宮** 確かに、「昔の大口はすごかった。今は人通りも少なくなった」と聞きますが、私から見ると今の大口も悪くありません。近くには保育園や病院、クリニックもあり、高齢の方も若い方も多く、ライバルも多いです



明るく入りやすい店内

が(笑)隠れたニーズはまだあります。

ニーズがあるとして、どう掘り起こしますか？

二宮 患者さん、お客さんとの敷居を低くし、個人と個人のつきあいの中で信頼されていくような薬局を目指し、工夫を続けていきたいと思います。大口通商店街はそういう薬局にぴったりなんですよ。

お客さんの信頼を得るとい点では、70 数年地元で続いている大口薬局を継承したのは大きいですね。

二宮 今でもお手伝い下さり、貴重なアドバイスをいただきとても心強いです。心から感謝しています。

### 継承前の1年間、複数の調剤薬局で修業

開店のため準備したことは？

二宮 去年の初めに会社をやめてから約1年、立地や得意分野の違ういくつかの調剤薬局で調剤と経営の勉強をさせてもらいました。今でも、先月まで働いていた「むつみ薬局」の西山社長以下、同店の皆さんには有形無形のサポートをしていただいています。開店資金は自己資金と公的金融機関からの借入でまかないました。

建物は？

二宮 2階建て。1階が売り場で約20坪、2階が倉庫などです。

お店の体制は？

二宮 通常は私と家内の2人です。

奥さんの商売経験は？

二宮 娘が4人おり、オープンするまで専業主婦でした。家内の子育て経験が若いお母さん方の相談相手として、また潜在マーケット、値付けなど主婦感覚で判断で

きるもので、なくてはならない貴重なパートナーです。家内の多くの友人が様々にサポートしてくれるのもとても助かっています。

定休日は？

二宮 祝祭日だけ。9時開店で夕方7時頃まで営業。

出足はいかがですか？

二宮 チラシなどの宣伝はしない方針ですが、以前からのお客さんのほか、新規の若いお客さんなどもおり、開店半月としては順調です。店内でいろいろ話し込んでいられるお客さんが増えていることも期待通りです。

配達もされるそうですね。

二宮 体調が悪い方や重い荷物を持って帰るのが大変というお年寄りなどのためにします。

### 二宮さんのモットー

#### 1・家族のように

自分の家族の健康を心から願うように、目の前にいる患者さま、お客さまがその時の僕と家内のすべて。必要とくださる方の健康に愚直に尽くしたい。

#### 2・薄利を追わず

儲かる薬局でなく、喜ばれる薬局になること。

## いい人材にめぐりあえた

### 店舗提供者、松林宏さん

大口薬局は昭和の初めに松林さんの父親が創業した。松林さんには、大学を出て薬剤師の資格も取った息子さんがいたが、13年前、交通事故で亡くなり、後継者はいなくなった。「どなたか薬局をやってくれる方がいないか」と考え始めた頃、たまたま、「市井の名店継承事業」の話がきて、名乗りをあげた。

昨年3月に二宮さんと会い、「やる気はすごくある。考え方もいい」と気にいった。ただ、商売の経験がないこと、亡くなった息子さんの13回忌がその年の9月にあることで、「それまでいろいろ勉強していただきたい」と秋以降の継承を申し出て二宮さんも納得、今回の店舗継承が実現した。

## 引き続き、店舗提供者・チャレンジャー募集中！

「自店の継承希望者を募集したい」

「地域に根ざした店舗を継承したい」

という方、ご連絡ください。

(社)横浜市商店街総連合会

231-0031 横浜市中区万代町1-1 横浜市教育文化センター11階

TEL. 0120-948-124 FAX. 0120-948-124 \*携帯・PHSからは050-5500-4517

Eメール kato@yokohama-syoutengai.com

ご連絡いただいた個人情報は本事業以外の目的には一切使用いたしません。

